

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
D401	卒業研究 / EX ゼミⅢ	4年	演習	4	飯島二郎
授業概要 卒業論文作成の基本となる管理会計に対する問題意識をゼミの討議をとおして明確にする。また、卒業論文作成のための資料収集の方法を理解させる。さらに、論文の構成を過去の事例から研究理解させ、論文の質を向上させるよう指導する。					
到達目標(学習の成果) 4年間の学習のまとめとして卒業論文を完成させる。(DP4)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	卒業論文の課題について	卒業論文作成上の問題意識の確認と討議			
2	卒業論文の課題について討議	卒業論文作成上の留意点と課題設定についての討議			
3		ゼミ生全体での討議			
4		ゼミ生全体での討議			
5	卒業論文のテーマ設定	ゼミ生全体での討議 テーマ設定についての意見交換			
6	卒業論文のテーマ設定と討議	個別の指導と全体での討議			
7	卒業論文のための資料収集	資料収集方法の基本についての指導			
8		資料収集状況の確認と指導			
9		論文テーマに対する資料収集状況の確認と指導			
10		進行状況(資料収集とテーマの関連性等)の確認と個別指導			
11		進行状況(資料収集とテーマの関連性等)の確認と個別指導			
12		収集資料の確認と検討状況についての全体討議			
13	卒業論文中間報告の準備	これまでの検討結果についての個別報告			
14	卒業論文の中間報告	ゼミ生の発表及び討議			
15	夏季休業中の作業計画について	夏季休業中に詰めるべき内容等の指示			
16	論文に対する問題点等の検討	検討状況の報告(1)			
17		検討状況の報告(2)			
18		追加検討すべき内容の討議と指示			

19	論文作成方法の検討	論文作成方法の基本と留意点についての確認と追指導
20		論文の構成方法についての講義と個別指導
21		参考文献等の取扱い方法の講義と確認
22		論文内容の概略についての報告書の提出
23		個別指導
24	卒業論文の中間発表	卒業論文の中間発表と意見交換
25	最終的な論文作成に向けた指導	最終的な論文作成に向けた、論文形式の指導
26		最終的な論文作成に向けた、論証方法の指導
27		最終的な論文作成に向けた個別指導
28	卒業論文の発表	ゼミ生の発表と討議(1)
29	卒業論文の発表	ゼミ生の発表と討議(2)
30	卒業論文の発表	ゼミ生の発表と討議(3)

準備学修(授業外の自己学修)

- 卒業論文をまとめるためには、関連するテーマに関する幅広い知識が必要になる。ゼミの中で紹介する著作や資料は、必ず読んで理解しておくこと。
- レポートや資料の作成は、期間内に提出することが最終的な論文作成につながるので、時間的な余裕をもって作業に取り組むこと

成績評価の方法・基準(%表記)

ゼミ活動の参画状況及びレポート等の提出状況 50%、卒業論文または卒業研究の内容 50%

観点	S	A	B	C
卒業研究のテーマ設定、調査方法、データ収集についての理解	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
卒業研究の内容が独創的か、論理展開がしっかりしているか	独創的な内容で論理展開も優れている	ほぼ独創的な内容で論理展開も優れている	論文としての論理展開が十分である	論文の形式を満たしている
卒業研究の成果の発表	研究の意義と内容を完全に伝えている	研究成果をほぼ完全に伝えている	研究成果を十分に伝えている	研究成果を発表している

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

論文の作成方法等に関する文献等については、ゼミの講義の中で適宜指示する。

履修上の注意・学修支援

- ゼミは積極的に参加し、ゼミ生相互の交流を通じて問題意識の深化を図ること
- 疑問点やわからないことがあったら、早めに相談すること。